

気軽に読める



ことのはロジック

皆藤黒助／著

講談社 講談社タイガ (2019年)

書道をやめて以来無気力になっていた墨森肇は、すみもりはじめ金髪碧眼の転校生アキに一目ぼれ。彼女のために夏目漱石の「月が綺麗ですね」を越える告白を考えることになるが、彼女には秘密があつて…。胸躍る青春日本語ミステリー。

かくされた意味に気がつけるか？ 3分間ミステリー

黒史郎／著

ポプラ社 (2019年)

一見そのままの内容で捉えてしまうが実はこんな裏の意味が…。意味が分かるとゾッとしたりほっとしたり、様々な感覚を味わえる3分間ストーリーがたくさん入っており、とても面白い一冊です。



気軽に読める



十四歳日和

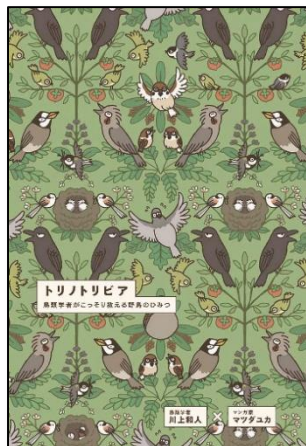
水野瑠見／著
講談社（2019年）

中学2年生、多くの悩みを抱えている年代かと思います。この本は4つの物語で構成され、それぞれの物語に出てくる中学2年生が自身の持つ悩みと向き合う姿が描かれており、甘酸っぱい青春ストーリーです。

トリトリピア 鳥類学者がこっそり教える 野鳥のひみつ

川上和人／監修
マツダユカ〔ほか〕／著
西東社（2018年）

身近な野生動物、野鳥。読めば新たな野鳥の一面を知ってしまうかも?!鳥好きな人もそうでない人も思わずニヤリと笑ってしまう、必読の一冊です。



気軽に読める

鉄道車両 陸送

菅野照晃／著
イカロス出版（2019年）



みんなが寝静まった頃、新幹線が道路を走る！普段は見られない光景を目撃するだけで、ワクワクしてなんだか胸が熱くなってくる。新型車両も廃車もこうやって運ばれるのか。乗り鉄、撮り鉄、これは送鉄とでも言おうか?!

へんな西洋絵画

山田五郎／著
講談社（2018年）

絵画鑑賞なんて難しいし、興味が無い？この本はめくってもめくっても変な絵のオンパレード。おかしい生き物や可愛くない赤ちゃんなどなど。思いっきり笑って西洋美術も理解できる、一石二鳥な一冊です。

